

# 日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告

No.183 2022年6月第1週



くらしのご相談事  
いつでもお声かけ  
ください。

## 固定資産税・都市計画税 条例の改正に反対

2021年度は、コロナの感染拡大による国民の負担感に配慮して、土地にかかる固定資産税・都市計画税を前年度と同額に据え置く措置を行いました。

2022年度は、地方税法改正で商業地は課税

### 「デジタル田園都市国家構想 推進交付金」を活用した、公 共施設3次元台帳作成業務本 当に必要か？

岸田政権は、デジタル技術の活用により地域の個性を活かしながら、地方を活性化し持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を推進しています。意欲ある地域による自主的な取組を応援するとしてデジタル田園都市国家構想

推進交付金事業を募集しました。鴻巣市も応募し、今回の補正予算で1764万9000円が計上されました。公共施設の屋根や壁面等ドローンを活用しての点検調査。庁舎・公民館・学校施設が立体的に見える3次元図面作成、コ

の、住宅地・農地は5%に引き上げました。コロナ禍、さらに物価高騰の中で住民の負担増につながるのと日本共産党は反対しました。

ウノトリ野生復帰センターのイベントなどをライブ配信できるようにする事業です。現在の経済状況下で市民生活にとって本当に必要なものなのか、政策総務常任委員会ですっかり審議していきます。皆さんのご意見お寄せください。

### 鴻巣市のワクチン接種状況 (12歳以上、5月30日時点)

接種済み	接種対象者数	
1回目接種	107,517人	
2回目接種	99,508人	92.6%
3回目接種	98,834人	91.9%
	74,546人	69.3%

## 6月議会 より

### 参議院埼玉選挙区(予) 候補の活動より



参院選は「戦争か平和か」が問われる歴史的な選挙です。

私の政治家としての原点は「反戦・平和」です。祖父が空襲で亡くなり、母が祖母に女手一つで育てられて苦労したこと、高校生のころ、中国の残留孤児となった日本人の方たちのことをテレビで知り、大学で中国の歴史を学びました。

- ト中継もあります
- コロナ対策を万全に傍聴お願い致します。ネット中継もあります
- #### 〈質問項目〉
- ① 包括施設管理業務委託について
  - ② 学校給食の無償化について
  - ③ 「子どもの権利条約」を生かした取組について
  - ④ 就学援助制度の拡充と、給付制の入学準備金・奨学金制度を創設することについて
  - ⑤ エルミ鴻巣1号館へのエレベーター表示の改善と、東口にエレベーター設置の調査業務委託の現状について
  - ⑥ 物価高騰に伴う市内業者の現状と、市としての対策について
  - ⑦ 市内業者のインボイス制度への対応、制度の廃止を求めることについて

## 竹田えつ子の一般質問 6月8日(水) 13時半ごろより



## 持続可能な社会は 農業・農村の再生で

### 効率一辺倒から環境と人にやさしい農政へ

目先の利益を優先して食料を大量輸入する政策は、輸出国での森林破壊や水資源の浪費など地球環境の悪化をもたらしてきました。

国内では、大多数の中小農家を「非効率」として切り捨て、国土や環境を荒廃さ

せ、生物多様性を脅かしてきました。

環境と人にやさしい農政への転換は、農山村に元気を取り戻し、持続可能な日本社会を築くうえで不可欠です。地球環境の保全にも大きな貢献になります。

### 国の責任で農業経営がなりたつ条件を整える

農業は国民の命と国土を守る土台です。それを担う農家の大多数が経営の成り立つよう条件を整えるのは国の責任です。EU諸国は手厚い保護で農業をしっかり守っています。

日本には豊かな自然条件、高い経済力や農業技術など農業を多面的に発展させる条件はあります。その条件を生かし、日本共産党は、農業と農山村の再生に取り組みます。

日本共産党の  
農業政策の柱

#### ●価格保障・所得補償を抜本的に充実する

- コロナ禍による“過剰米”の政府買い入れで暴落した米価を回復する
- 政府備蓄米をコロナ禍で苦しむ生活困窮者等に提供する
- 肥料、飼料、燃油高騰を抑える緊急対策を実施する

#### ●大規模化一辺倒をやめ、中小の農業経営も支援の対象にする

#### ●環境や生物多様性に配慮した持続可能な農業を推進する

#### ●輸入野放しをやめ、各国の食料主権を尊重する貿易ルールを確立する

夏の  
政治戦

## 日本共産党の躍進で 農村に希望ある未来を

夏の政治戦、農政の転換のチャンスです。

生産者と消費者、市民と野党が力を合わせ、食と農を危機に追い込む政治に厳しい審判を下そうではありませんか。

日本共産党は、農業つぶしの大本にあるアメリカ・財界いなり政治を根本から批判し、農政転換の方向を提案しています。日本共産党の躍進で農業と農村に希望ある未来を開こうではありませんか。

